

第44期通常総代会議案 第1号議案 ダイジェスト

2011年度のまとめと2012年度の重点方針(案)

もくじ

2011年度のまとめ(案)

2011年度は尼崎医療生協にとってどういう年か
2011年度のメインテーマ

[重点課題の到達・特徴]

- 1, 健診から始まる健康づくりをさらに
前進させます 2ページ
 - 1) 健康づくりの無限のサイクル2年目
 - 2) 健康習慣アンケート
- 2, 楽しく地域から頼りにされる支部づくり、
活動づくり 2ページ
 - 1) 健康づくりを基本とした要求に基づく活動を支
部・班で取り組みました
 - 2) 超高齢化社会の中で「人とつながり、ともに暮
らしの支え合い」を広げました
 - 3) 多様な要求、多世代の要求に基づく組合員活動
を展開
 - 4) 組合員活動のひろがり「出資・利用・運営参
加」に結びつけます
- 3, 出資金・組合員 3ページ
 - 1) いのちの平等を支える出資金運動
 - 2) 医療生協発展の原動力 なかま増やし
- 4, 2012年医療・介護保険制度の同時改定に向けた
事業力向上 3ページ
 - 1) 利用者動向
 - 2) 事業種別課題
 - 3) 尼崎医療生協の事業と運動を担う職員の育成
- 5, 社会保障充実に向けて 4ページ
 - 1) 署名：TPP、原発撤退、核兵器全面禁止
 - 2) 尼崎アスベスト訴訟（環境型）支援
 - 3) 無料低額診療事業適用
- 6, 東日本大震災救援活動を継続 4ページ

2012年度方針(案)

2012年度の特徴
尼崎というまち
2012年度のメインテーマ

- 1, 組合員活動の重点 6ページ
 - 1) 健診から始まる健康づくり
 - 2) 人とつながり、支え合う
 - 3) 支部づくり、担い手づくり
 - 4) 組合員活動のビジョンづくり
- 2, 出資金と組合員 7ページ
 - 1) いのちの平等の事業と運動を支える出資金
 - 2) 相対的に遅れている仲間増やしでの飛躍をめざ
します
- 3, 累積赤字解消計画3年目 7ページ
 - 1) 安心して暮らし続けられるまちを支える“地域
力”向上に事業で貢献
 - 2) 業種ごとの基本方針
 - 3) 診療報酬・介護報酬同時改訂への対応
- 4, 医師・看護師の確保に全力をあげます ... 8ページ
 - 1) 学生対策 2) 既卒対策
- 5, すべての職員がやりがいと成長を実感できる
組織づくりにとりくみます 8ページ
 - 1) 理念教育 2) 人が育つ職場づくり
- 6, 尼崎医療生協の位置にふさわしい
社会的役割の発揮 9ページ
 - 1) 無料低額診療事業を拡大し、尼崎市に実態を伝
える中で国保法44条適用拡大に取り組みます
 - 2) アスベスト被害の救済を求める運動をさらに広
げます
 - 3) 東日本大震災の被災者支援ボランティア活動を
継続します
 - 4) “原発いらぬ”の諸運動を推進します
 - 5) 引き続き核兵器廃絶に向けた運動に取り組みます
 - 6) 社会保障充実（わかちあい）への政策転換に向
けて

2012年度 第44期通常総代会のご案内

2012年6月24日(日) 13時から17時
尼崎市中小企業センター

(補足) 社会保障充実（わかちあい）への
政策転換に向けて 10ページ

2011年度のまとめ(案)

2011年度は尼崎医療生協にとってどういう年か

- 1, 健診から始まる健康づくりをさらに前進させる年
- 2, 人とつながり、ともに暮らしの支え合いを広げる年
- 3, 2012年医療・介護保険制度の同時改定に向けて事業力を高める年
- 4, 地域から社会保障充実への政策転換のうねりをつくり出す年

2011年度のメインテーマ

人とつながり支え合う
安心して暮らし続けられるまちをみんなで作る

重点課題の到達・特徴

1, 健診から始まる健康づくりをさらに前進させます

組合員健診及び特定健診の到達は4,745人(1月末)で前年同期比107%

2011年度目標6,000件 2010年度最終5,076件

2009年度最終3,525件

1) 健康づくりの無限のサイクル2年目

常光寺支部、立花北支部が結果返し集会を開催。さらに結果返し集会を強めていく必要。

2) 健康習慣アンケート

地域ごとの健康度調査を実施(年度末に集計を出せるように)



2, 楽しく地域から頼りにされる支部づくり、活動づくり

1) 健康づくりを基本とした要求に基づく活動を支部・班で取り組みました

脳いきいきインストラクターが81名誕生。インストラクター養成講座の講師資格を3名の組合員が取得。28カ所で脳いきいき教室(2月末)が開催され、

伊丹では2つの教室が班結成。夫婦で参加し、引きこもりがちな夫がしゃべった…等様々なドラマも。運営委員の活動スタイルの見直しが必要。

2) 超高齢化社会の中で「人とつながり、ともに暮らしの支え合い」を広げました

食事会（戸ノ内、潮江、東尼崎）、見守り（潮江地域）、配食サービス（ナニワ地域）、茶話会（潮江、武庫之荘地域）等の助け合い活動が継続。

西宮では、くらしの助け合いの会ご近所さんが4月に発足。11月末現在、利用会員16人、ボランティア25人、実利用者14人、総支援回数61回と活動が広がっています。

3) 多様な要求、多世代の要求に基づく組合員活動を展開

子育て応援カルチャー3期目が開催され、定員を超える参加に。受講生どうしのサークル結成の可能性も。

小中学生の基礎学習支援を目的とした子ども応援ひろばが中学校教員OBの協力でスタート。参加者から喜ばれており、お母さん方どうしのサークル結成等にも発展。

尼崎市のつどいの広場事業の公募があったが、地域の指定等もあり、今回は断念。

4) 組合員活動のひろがり「出資・利用・運営参加」に結びつけます

支部運営委員会の参加者数は4人～11人で平均6名。意識的に周りに声をかけて増えている支部もあ



るも、支部分割を行った富松、塚口では合計で運営委員数が2倍以上に増加。

班登録は117班（4班増）、サークル登録は32（2サークル増）で、どちらも微増。

カルチャー教室は、延べで872人（1月末現在）の参加。今後は子育て世代に特化した形態でのカルチャー継続を検討。

にじのガイドブックの活用では、紙面の工夫（“にじと健康”との棲み分け、子育て世代に焦点を当てる等）が必要。

3. 出資金・組合員

1) いのちの平等を支える出資金運動

1万人の出資参加で2億円（純増5,000万円）

① 1月末時点の出資参加実組合員数8,873人
（2010年度最終7,914人）

1万人の増資参加まで、あと 1,127 人

② 出資金 2月10日現在 +1億9,314万円
-1億5,988万円 差引+3,326万円

2) 医療生協発展の原動力 なかま増やし

2月10日現在 +2,525人 -1,308人（残高通知の影響あり） 差引+1,217人

組合員総数49,512人

5万人組合員まで、あと 488 人

※事業所での100%加入デーと予防接種時の加入呼びかけで前進。

4. 2012年医療・介護保険制度の同時改定に向けた事業力向上

剰余目標3億500万円に対して、12月末で9,547万円の経常剰余。

1) 利用者動向（4～12月累計）

予算比：外来患者件数90.7%、入院106.7%

外来延患者数91.3%、入院 95.7%

前年比：外来患者件数99.4%、入院100.2%

外来延患者数98.5%、入院 98.8%

2) 事業種別課題（医科診療所以下のデータは12月

末時点）

- 病院：病床稼働が8月以降急激に低下
改めて医療生協組合員の共有財産としての病床を、一人でも多くの組合員に利用していただくために稼働向上を最大の重点とし、予算達成へ。
- 医科診療所：予算比件数93.9%、延患者数92.6%
件数増と新規患者獲得対策に事業所ごとに取り組み、予算を達成へ。

- 歯科診療所： 予算比件数109.1%、延患者数110.6%の健闘
- 訪看st： 予算比件数98.0%、延患者数102.1%の健闘 全事業所での予算達成へ。
- 老人保健施設： 予算比入所件数96.6%、通所件数94.1%
事業所の存在意義を全職員で共有化し、後れを取り戻して予算達成へ。

3) 尼崎医療生協の事業と運動を担う職員の育成

- 2012年度初期研修フルマッチ5人 3年目以降の中期研修医フォロー体制強化へ担当者を配置。
- 看護師確保を尼崎医療生協全体の課題に
病棟閉鎖回避へ全力 県連からの支援決定

すべての事業所と支部に依拠した実践的な取り組みの推進が課題。

- 事務幹部養成 ステップアップ研修全8コースに7人参加



5、社会保障充実に向けて

- 1) 署名： TPP4,429筆 (89%)、原発撤退10,997筆 (68%)、核兵器全面禁止3,295筆 (110%)

※各署名到達は2月11日現在

原発撤退署名は1/18時点で10,000筆を超えるというかつてないスピードで広がりつつあります。TPP反対をはじめ、各種署名運動で兵庫民医連全体の牽引車としての役割を果たしました。



- 2) 尼崎アスベスト訴訟（環境型）支援

※2012年3月結審、夏～秋に判決。

新たに尼崎医療生協アスベスト対策委員会を設置。

泉南不当判決の流れを変えるために裁判の傍聴を広げつつ、長期的な被害者救済に向けて独自のアスベスト検診を準備。

- 3) 無料低額診療事業適用（1月末）：

166世帯、305人（前年最終127世帯、225人）

「就学援助決定通知を受けた世帯の世帯員で診療費の支払いが困難な場合」を対象範囲に加え、尼崎市に届出を行いました（8月23日受理）。

国保法44条（一部負担金減免）適用第1号を実現しました。11月に尼崎社保協と一緒に尼崎市国保課との懇談を実施、情報の共有化に向けた定期協議へとつながりました。

6、東日本大震災救援活動を継続

民医連・医療生協として初の「被災地へのコーディネーター配置による被災者の直接支援」に取り組みました。尼崎から医療福祉生協連近畿ブロックへ、そして民医連法人を含むオール近畿の取り組みに発展……新たな歴史を創りました。

※「被災者に寄りそう医療」新日本出版社



2012年度方針(案)

2012年度の特徴

- 1, 安心して暮らし続けられるまちへ、“地域力”向上に事業と運動で積極貢献する年
- 2, 社会保障充実(分かち合い)への政策転換に向けた幅広い共同にチャレンジする年
- 3, 医師・看護師の養成と確保に医療生協の組織をあげて取り組む年
- 4, 東日本大震災被災者支援と“原発いらない”の運動
 - 1) “原発いらない”の国民的合意形成へ運動の飛躍をつくり出す年
 - 2) 東日本大震災被災地の復旧と被災者の生活再建への支援を継続する年

尼崎というまち

1, 西宮との比較

人口はほぼ同じ46万人
面積は西宮の半分
人口密度は2倍

2004年に西宮に抜かれて4位に転落

2, 貧困と不平等の拡大

- 1) 生活保護受給世帯 人口1,000人対比
兵庫県平均の2倍、西宮市の2.6倍
2003年度県政要覧
- 2) 就学援助率30.1%、最高の中学校区は42.7%、かつての足立区に匹敵
2003年度尼崎市統計
- 3) 「家で勉強しない」と答えた子どもの割合
小5、中1、中3 2005年(神戸新聞)
全国平均 9%、13%、8%
尼崎市 12%、19%、25%
機会の平等が失われつつある典型
……貧困と不平等が世代を超えて継承されていくまち
- 4) 国民保険料の滞納率は43.6%
兵庫県21.0%、大阪市24.5%

3, 永くは生きられない

2005年度厚生労働省統計、同尼崎市統計

- 1) 平均寿命 47都道府県+15政令指定都市+東
京都区部の平均+尼崎市 計64データをソート
・男性77.6歳 ワースト4位 1位:青森県、
2位:大阪市、3位:秋田県
・女性84.6歳 ワースト2位 1位:大阪市
- 2) 早世率(65歳までに亡くなる率)
・男性は兵庫県内ワースト1位 30.4%
・女性は16.3%でワースト6位
- 3) 自治体別がん死亡率日本一(ワースト1)
・男性1位、女性2位、総合1位

4, 尼崎医療生協をはぐくんできた背景としての風土

- 1) 他の地域では見られないほどの活発な住民運動の存在
- 2) 国民皆保険制度の発祥の地、尼崎「月10円掛け保険」
要求運動は活発にやるが、診療所も保育所も特養も必要なモノは住民自らの手でつくる。
- 3) 猥雑で殺伐とした街、しかし人間的な地熱を感じる街
田辺聖子「ほっこりぽくぽく上方さんぽ」

2012年度のメインテーマ

人とつながり、支え合う 安心して暮らし続けられるまちを、みんなでつくる

1. 組合員活動の重点

1) 健診から始まる健康づくり～あなたから始めましょう

- ①組合員健診受診を6,000人に広げます。
- ②各支部で「脳いきいき教室」をはじめ「料理教室」や「運動教室」等、健康づくり、仲間づくりを広げます。
- ③班・サークル登録数を200に増やし、健康づくりの輪を広げます。

2) 人とつながり、支え合う～新たなつながりづくり

①高齢者支援

- 支部やグループによる食事会や配食、茶話会（サロン）、見守り等、支え合いの活動を広げます。
- 班や機関紙手配りのつながりを生かした支え合いや見守りの活動を広げます。
- くらしの助け合いの会を尼崎市内で1地域をモデルとして立ち上げます。



②子育て支援

- 子育てカルチャー・子育てサークルを拡大し、子育て世代の輪を広げます。
- メール等を活用し、子育てネットワークをつくれます。
- 小中学生を支援する「子ども応援ひろば」をさらに発展させます。

3) 支部づくり、担い手づくり

- ①健康づくりや支え合いの活動を大いに地域に知らせ、協力者を増やします。
- ②1,000～1,500人未満の支部づくりを早期にめざし、機関紙の配付網の確立と運営委員増やしに目標をもって取り組みます。

4) 組合員活動のビジョンづくり

10年後を見据えて、組合員の願いや要求に応えることのできる組織のあり方についてのビジョンを策定します。



2、出資金と組合員

- 1) いのちの平等の事業と運動を支える出資金 1万人の出資参加で2億円（純増5,000万円）
出資金残高通知2年目の組織整備に取り組みます。
- 2) 相対的に遅れている仲間増やしでの飛躍をめざします。目標4,000人
事業所ごとに組合加入100%デーに取り組みます。



3、累積赤字解消計画3年目 3億2,000万円の経常剰余獲得

- 1) 安心して暮らし続けられるまちを支える“地域力”向上に事業で貢献
 - ①医療生協の事業所・職場が地域の中で果たすべき役割を、もう一度問い直します。
一方では「医療崩壊」のもとで医療・介護現場の置かれた厳しい状況と、もう一方には地域組合員・利用者・住民からの要求があります。医療・介護サービスの提供者と利用者がともに組合員である医療生協の特徴を生かして、危機を打開しましょう。
※「2012年度方針の補足」参照



- ②院所利用委員会、周辺地域の支部や担当理事と事業所との連携を強化します。
 - この中で医療生協ならではの新たな医師・患者関係づくりをめざします。
- ③法人内事業所同士の連携と、地域組合員との連携、法人外の医療機関・施設・行政組織等との連携を強化します。
 - 地域組合員による助け合いの活動と併せて地域の多様なニーズに応えます。

- 拠点事業所としての医科診療所を中心に、地域の虹のネットワーク加入事業所の定期的な協議を行い、連携の強化を図ります。
- 医療生協の事業所が、虹のネットワークの多様な事業展開を背景に、地域連携のコーディネーターとしての機能を担います。

2) 業種ごとの基本方針

①尼崎医療生協病院

大きな成果を生み出した費用削減の取り組みを継続しつつ、医療生協組合員の共有財産としての病床を、一人でも多くの組合員に利用していただくために病床稼働向上に取り組みます。
在宅・高齢者を支える病棟としての機能を重視します。

②医科診療所

- 件数増と新規患者獲得対策を事業所ごとに具体化します。
- 健診、慢性疾患医療、在宅医療の3本柱で組合員のあらゆるライフサイクルを支えます。
- 医療との連携の強みを生かし、介護事業の強化に取り組みます。

③歯科診療所

引き続き患者満足度の高い歯科医療に取り組



むとともに、医療生協の次の歯科展開に向けた検討を開始します。

④訪看st

- ・看護師確保と訪問看護の後継者育成
- ・休日、時間外対応の強化（検討課題：休日・夜間対応の集中化）

⑤老人保健施設

改めて事業所の存在意義を全職員で共有化する中で、稼働向上に取り組みます。

⑥生協事務局

- ・本部費の削減
- ・各事業所活動の組織的支援のあり方を確立し、事務局機能の強化をはかります。

3) 診療報酬・介護報酬同時改訂への対応

- ①改訂内容を正確につかみ、迅速な対応をおこないます。
- ②介護事業部門の確立で、医療生協としての新たな施設展開を検討します。

4、医師・看護師の確保に全力をあげます

医療生協の特性を生かした“組合員とともに育てる”医師・看護師養成を具体化します。

1) 学生対策



- ・医師、看護師をめざす学生時代に医療生協・民医連を知り、学び考える機会を通じた後継者育成にとりくみます。

2) 既卒対策

- ・過去のつながりを生かしたとりくみをすすめます。
- ・地域組合員からの看護師（看護師をめざす高校生含む）紹介運動を広げ、確保につなげます。
- ・引き続き四国、中国、山陰、九州方面を対象に「看護師向け 関西で働いてみませんか」キャンペーンに取り組みます。
- ・医療看護実践、医師後期研修の内容を広く発信します。他との差別化。
- ・働きやすい職場風土をアピールします。

5、すべての職員がやりがいと成長を実感できる組織づくりにとりくみます

1) 理念教育

- ・全職員を対象に、法人理念（歴史、地域の特性、生協の社会的役割、民医連綱領、社会情勢）について考える機会をつくります。
※ひとり1レポートを発展させた取り組み
- ・新入職員から管理者まで、あらためて理念を理解、共感しその実現の主体になれる職員づくりにとりくみます。

2) 人が育つ職場づくり

- ・一人ひとりが自分の役割と目標を持ち、持てる力を十分に発揮できる仕事のありかたを考えます。
- ・管理者、職責者が目標達成や取り組みの過程に対する適切な評価とフィードバックができる力



量を身につけます。

- ・また、定期的に目標や進捗が確認され、日常的に相談、援助と指導をつうじて職員どうしの豊かな係わりを行います。

6. 尼崎医療生協の位置にふさわしい社会的役割の発揮

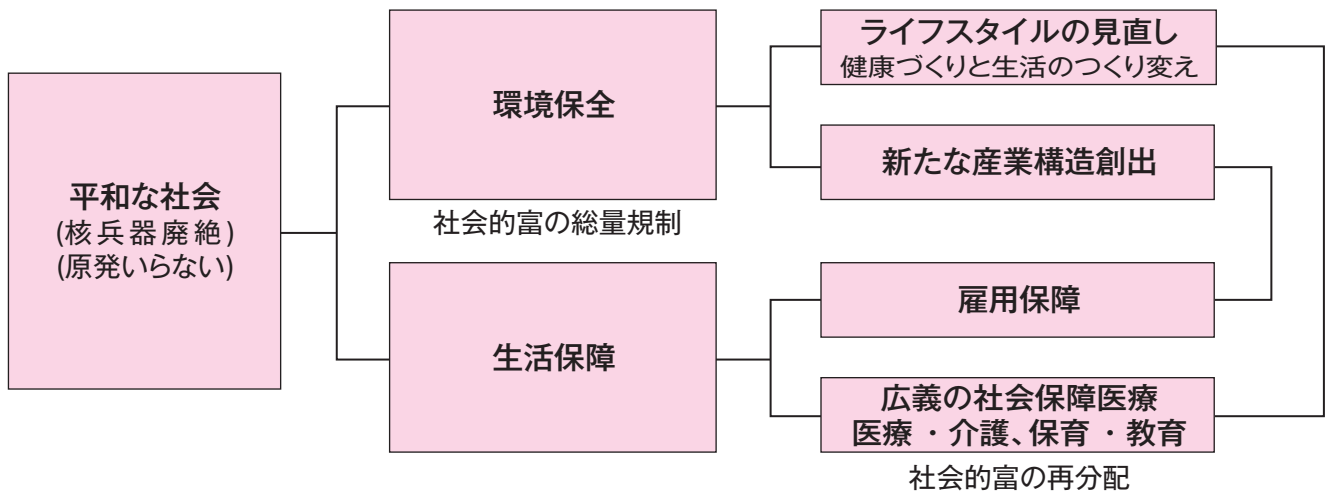
- 1) 無料低額診療事業を拡大し、尼崎市に実態を伝える中で国保法44条適用拡大に取り組みます
全国的に無低診事業を広げるために、引き続き積極的役割を果たします。
- 2) アスベスト被害の救済を求める運動をさらに広げます
 - ① 尼崎アスベスト訴訟の支援活動の強化
 - ② 独自のアスベスト健診の再開と、指定医療機関取得に取り組みます。
- 3) 東日本大震災の被災者支援ボランティア活動を継続します
今後の新たな大規模災害に備えて、防災対策と被災地支援の両建てで具体化を行います。



- 4) “原発いらない”の諸運動を推進します
 - ① 組合員数を上回る署名運動に取り組みます
……………目標45,000筆（2011年度からの累計）
 - ② 福井県の原発再稼働をさせない運動に取り組みます。
幅広い団体・個人との連携を広げると同時に、事業所を先頭に節電をすすめます。
- 5) 引き続き核兵器廃絶に向けた運動に取り組みます
- 6) 社会保障充実（わかちあい）への政策転換に向けて
幅広い共同をつくり出すために、他団体・個人との懇談と共同行動に取り組みます。

図1

医療生協のめざすあたらしい日本社会



2012年度方針(案)補足 社会保障充実(わかちあい)への 政策転換に向けて

1. 健康権と社会保障

図2-1 富裕国間においては、健康問題や社会問題は不平等に緊密に関係している

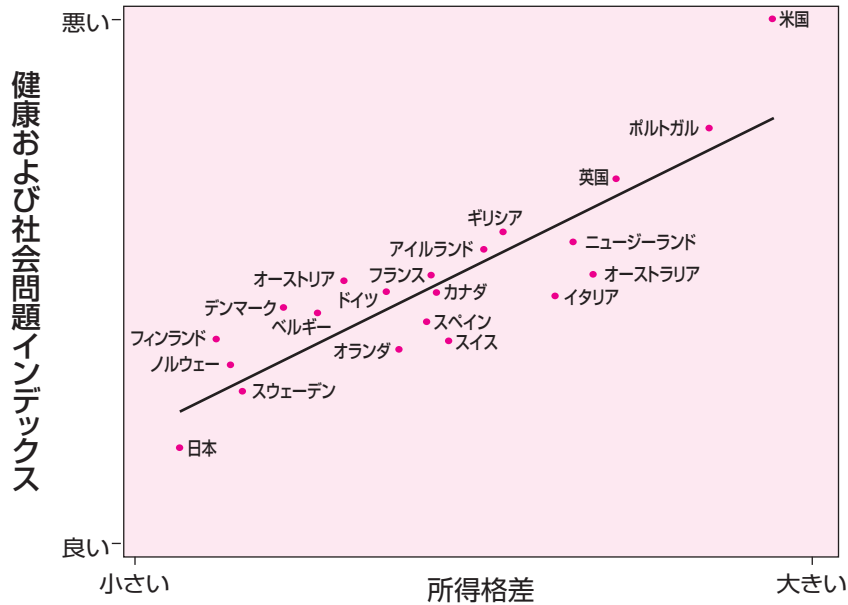
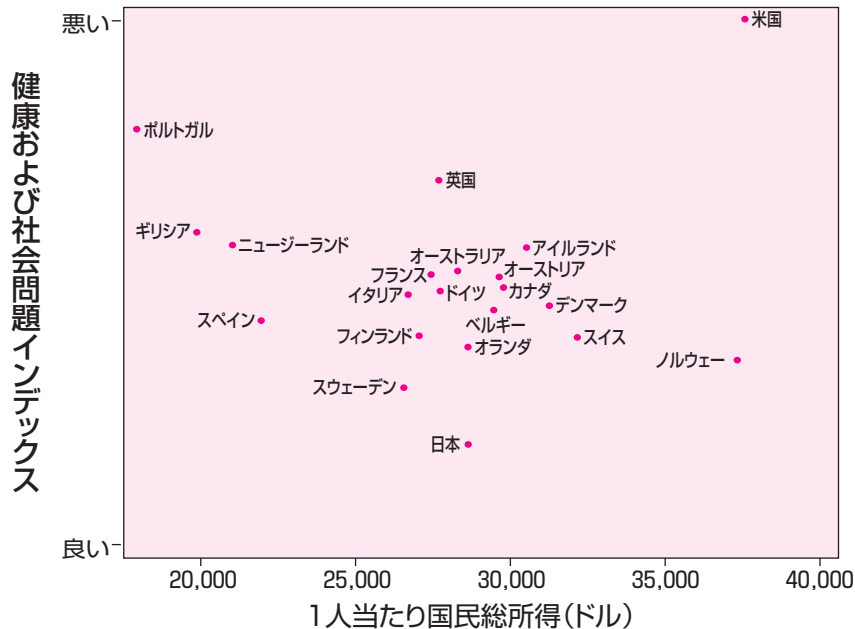


図2-2 健康問題や社会問題は、富裕国の間では国民平均所得とは弱い関係しか示していない



前ページの2つのグラフの解説

データは国連の『人間開発報告書』（2003～2006年度版）（図2-1、2-2）

日本の数値は戦時中から戦後にかけて比較的格差の少ない社会が長く続いた結果と見られている。しかし、小泉政権（2001～2006年）以降、格差は大きく拡大した。この格差の変化が浸透してデータに影響するまでに要する時間（タイムラグ）は不明だが、今日の格差拡大の状況からは、どこかの時点で一気に最悪のアメリカに近づくであろうことは間違いない。

健康及び社会問題インデックス（指標）

- 信頼の程度
- 精神疾患（薬物やアルコール濫用含む）
- 平均余命 • 乳幼児死亡率 • 肥満
- 子どもの学力 • 10代の妊娠 • 殺人 • 収監率
- 社会移動（社会的流動性）

※異なった時点間で、社会成員が世代間あるいは世代内で社会階層を移動すること。

「平等社会」 経済成長に代わる、次の目標

リチャード・ウイルキンソン+ケイト・ピケット
著 酒井泰介訳 東洋経済新報社

今日の社会疫学の発展は、経済的格差の拡大が社会全体の健康及び社会問題インデックス（指標）の悪化につながることを証明した。すなわち幸福・健康（well-being）な社会を築くためには、経済的格差の是正が必要だということを明らかにした。

健康権（憲法25条に基づき、生存権をさらにもう一歩進める）

健康権とは……………

障がいを抱えた人も含め、その人が到達し得る最高の健康状態を基本的人権として保障する。WHOが創立以来提案し続けている世界の常識。

健康権と社会保障

病んだ社会の根源としての格差の存在

幸福・健康（well-being）な社会を築くための最重要課題は経済的格差の是正。それを実現するための施策のポイントは所得の再分配政策としての社会保障の充実。

2、社会保障の財源論について

全日本民医連 第22回理事会(2011年11月18日)での藤末会長あいさつより

新しい医療・介護政策の提案では、権丈氏（権丈善一・慶應義塾大学教授）の主張が印象的です。社会保障の財源はあくまで保険料がメインであるべきで、保険料は法律で徴収率が決められている安定した財源という主張です。

途中省略 私たちも財源などを明示した形でプランを明示していく議論を重ねていきたいと思えます。来年の第40回総会に向けて議論も始めていただいています。ぜひ、結果をだせる方針を作り上げたいと思っています。

3、公共的分野での新自由主義的な政策の罪悪

私は、急激な医師不足による病院医療崩壊は、長年の医師数と医療費の抑制政策が根本原因ですが、国民の医療・介護を商品、消費とみるような意識と行動の変化が直接的に医師、看護師に与えた影響も大きいと考えています。たとえば、高い自己負担を支払いながら治療結果が良くないと、診た医師の質が悪かったのではないかという話がけっこう多くなりました。その中で心身ともにギリギリのところでもがんばっていた医師たちが、「これはもう耐えられない」と、病院を去ってしまった。

患者さんたちの「ありがとう」の一言で何とかがんばっていた医師たちの気持ちが折れた、一人でやめると迷惑がかかるので集団で退職といったことも珍しくなくなりました。

ほころびかけていた医師と患者の関係に決定的な新自由主義的なくさびが打ち込まれた結果だと実感しています。

民医連医療 2012年1月 新春対談「新しい国づくりに向けて」 辻井 喬／藤末 衛

2012年度第44期通常総代会の公告

2012年2月25日
尼崎医療生活協同組合

2012年度第44期通常総代会(地区別総代会及び総代会)について、下記の日程で開催しますので、公告します。

記

I.地区別総代会

①病院地域

5月27日(日) 9:30~12:00
組合員ひろば

②病院地域

5月31日(木) 14:00~16:30
女性センタートレピエ

③ナニワ地域

6月1日(金) 14:00~16:30
大庄地区会館(予定)

④本田地域

6月1日(金) 18:00~20:30
本田診療所

⑤戸ノ内・潮江地域

6月2日(土) 14:00~16:30
小田公民館(予定)

⑥全体

6月2日(土) 18:00~20:30
すこやかプラザ

⑦東尼崎・長洲地域

6月3日(日) 9:30~12:00
東尼崎診療所

※該当地域以外の会場へ参加していただいても構いません。

II.総代会

とき 2012年6月24日(日) 13時から17時
ところ 尼崎市中小企業センター
(尼崎市昭和通2丁目6-68 電話:06-6488-9501)

(議案)

- ◇第1号議案 2011年度のまとめと2012年度の方針
- ◇第2号議案 2011年度決算報告と2011年度監査報告
- ◇第3号議案 2012年度予算案
- ◇第4号議案 2012年度役員報酬決定の件
- ◇第5号議案 役員選任規約改正の件
- ◇第6号議案 役員選任の件
- ◇第7号議案 議決効力発生

以上

2012年度総代選挙公告

2012年2月25日
尼崎医療生活協同組合
選挙管理委員会
委員長 井筒 義照

尼崎医療生活協同組合総代会選挙管理規約第5条にもとづき第2条による選挙区及び第3条による選挙区ごとの定数、第6条による候補者登録の受付期間及び受付方法を、下記のとおり公告します。

1. 区ごと及び選挙区ごとの定数

支部	定数	支部	定数	支部	定数
東園田支部	6	大庄東支部	13	富松支部	5
戸ノ内支部	10	大庄西支部	13	塚口支部	5
西園田支部	9	大庄南支部	5	浜甲子園支部	3
下坂部支部	7	西昆陽支部	6	高須支部	3
潮支部	6	武庫支部	13	支部外・職域	定数
浜支部	7	武庫之荘支部	8	支部外	6
常光寺支部	6	南武庫支部	13	ヘルス企画	1
杭瀬支部	8	大庄北支部	13	虹の会	3
浦風支部	3	稲葉支部	12	虹のサービス	1
長洲支部	12	南武西支部	13	尼崎医療生協	19
難波・七松支部	13	立花支部	8	合計	280
本庁支部	9	立花北支部	7		
浜田・崇徳院支部	10	尾浜支部	4		

2. 立候補の受付期間および受付方法、ならびに選出方法

- ①各地域の支部もしくは、事業所に届け出る。
- ②各支部の総会で選出する。支部外及び職域総代は理事会で選出する。
- ③総代立候補者名簿は、それぞれの支部総会7日前までに当該事業所に掲示する。

3. 総代に立候補できない者

次にあげる者は、総代に立候補できない。

- ①尼崎医療生活協同組合への未加入者
- ②役員及び選挙管理委員

以上

やむを得ず欠席される場合は、右記までご連絡ください

尼崎医療生協 組合員活動部 電話 06-4962-4920 FAX 06-4962-4921

支部総会日程表

(2012年2月22日現在確認されている日程)

支部	日程	時間	場所	支部	日程	時間	場所	支部	日程	時間	場所
東園田	4月22日(日)	11:00~	ポッポ保育園	難波・七松	4月21日(土)	14:00~	中央公民館	大庄北	4月15日(日)	14:00~	今北会館
戸ノ内	4月24日(火)	13:30~	戸ノ内診療所3階	本庁	4月21日(土)	13:30~	北竹谷福祉会館	稲葉	4月22日(日)	10:30~	組合員ひろば
西園田	4月11日(水)	11:00~	近松公園	浜田・崇徳院	4月21日(土)	13:00~	大庄地区会館	南武西	4月21日(土)	13:00~	組合員ひろば
下坂部	4月21日(土)	13:30~	潮江診療所	大庄東	4月21日(土)	14:00~	大庄公民館	立花	4月26日(木)	19:00~	労金コーポ福祉会館
潮	4月8日(日)	14:00~	潮江北住宅集会所	大庄西	4月21日(土)	13:30~	本田診療所	立花北	4月9日(月)	14:00~	上ノ島団地集会所
浜	4月14日(土)	11:00~	潮江コミュニティー	大庄南	4月21日(土)	13:30~	大庄公民館南分館	尾浜	4月9日(月)	10:00~	立花公民館尾浜分館
常光寺	4月22日(日)	10:00~	東尼崎診療所	西昆陽	4月4日(水)	10:00~	市立西昆陽会館	富松	4月14日(土)	14:00~	東富松会館
杭瀬	4月22日(日)	(別途、対象地域の組合員の皆さまにご案内します)		武庫	4月24日(火)	14:00~	コミュニティー武庫(予定)	塚口	4月22日(日)	10:00~	ひびきのコミュニティセンター
浦風	4月29日(日)	10:00~	南杭瀬福祉会館	武庫之荘	4月15日(日)	10:00~	武庫之荘北会館	浜甲子園	4月28日(土)	13:30~	南甲子園公民館
長洲	4月21日(土)	13:00~	長洲診療所	南武庫	4月14日(土)	10:00~	女性センタートレピエ	高須	4月23日(月)	10:30~	高須公民館